

=====
【ソフト名】 ShortestRoute via the other nodes (最短経路検索with中継地点)
【ソフト形式】 DLLモジュール
【バージョン】 1.0.1
【制 作 者】 有限会社シナジック
【ソフト種別】 フリーウェア
【配布条件】 自由です。商用利用もご自由に行ってください。
【転載条件】 転載、再配布、書籍などの付録として添付する際は、弊社に連絡をお願いします。
また、著作権情報・ファイル構成を改変しないで下さい。
=====

● ソフト説明

本モジュールは、道路やその他のネットワーク形状をした経路において、出発点から目的地までの間に経由地点がある場合、その**経由地点を経由したときの最短経路（最短ルート）**を求めるDLLモジュールです。各ノード間の距離には距離以外に時間、費用、その他消費資源数を当てはめることにより、さまざまな分野に適用できます。

● 動作環境

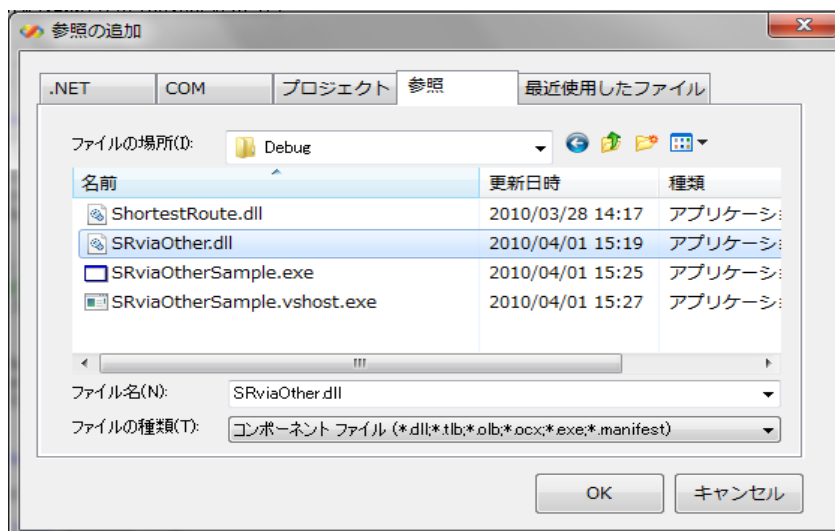
- Windows 2000/Windows XP/Windows 7または完全互換性のある上位バージョン
- 本ソフトウェアはMicrosoft .NET Framework 2.0以上が必要です。インストールするマシンにMicrosoft .NET Frameworkがインストールされていない場合は本ソフトウェアをインストールする前にMicrosoft .NET Frameworkをインストールしておいて下さい。

● 梱包物一覧

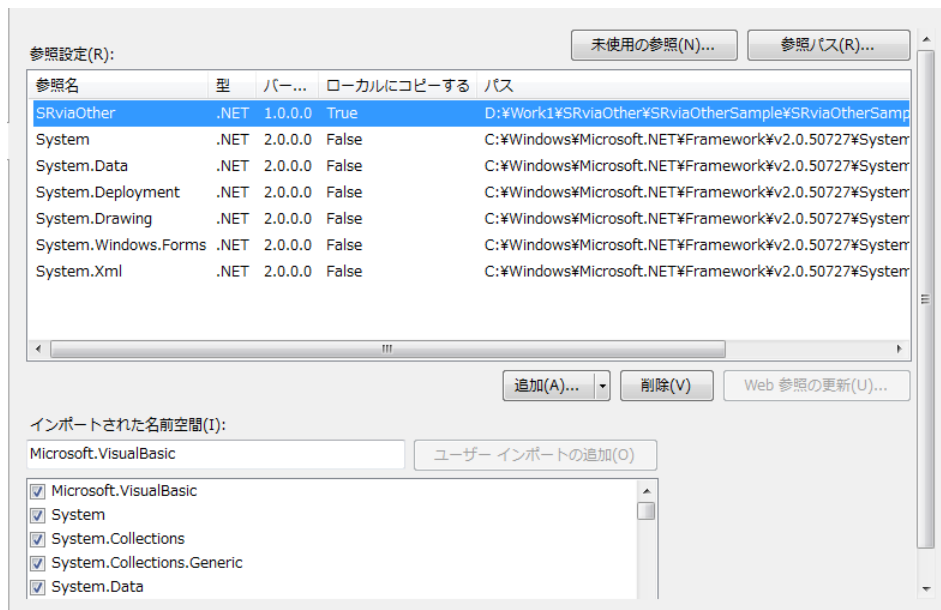
- SRviaOtherSample
SRviaOtherを使用したVB2005のサンプルプロジェクト
- SRviaOther.dll
SRviaOtherのDLLモジュール
- ShortestRoute.dll
ShortestRouteのDLLモジュール
本モジュールはShortestRoute.dllを使用します。
- Readme.pdf
本ファイル

● 使用方法

1. SRviaOther.dllを適当な場所へ格納します。
2. VB2005の場合、メニューの「プロジェクト(P)」→「参照の追加(R)」→「参照タブ」より上記1.で格納したSRviaOther.dllを指定します。



3. メニューの「プロジェクト(P)」→XXXXのプロパティ(P)→「参照」の参照設定(R)に「SRviaOther」が追加されていることを確認します。



4. プログラム上では以下のように使用します。

```
Dim SRviaOther As New SRviaOther.SRviaOther
```

```

*****
*      Fnode() As String      : 始点ノード配列                      *
*      Tnode() As String      : 終点ノード配列                      *
*      Dist() As Int64        : 始点、終点間距離 (0以上)            *
*      ACnt As Int64          : 上記配列数                          *
*      Way As Boolean          : False=片方向のみ許す／True=両方向許す *
*      Start As String        : 出発点ノード                        *
*      Goal As String         : 目的地ノード                        *
*      WayPoint() As String    : 中継地点ノード                      *
*      WayPCnt As Int64        : 中継地点ノード数                    *
*      WayPFix As Boolean      : 中継地点経由順序 (True=固定、False=順不同) *
*      Route() As String       : 最短経路ルート                      *
*      RCnt As Int64           : 上記ルートのノード数 (最短経路が見つからない場合は0) *
*      TDist As Int64          : 上記ルートの総距離 (最短経路が見つからない場合は0) *
*****

```

```
SRviaOther.SRVRouteFind(Fnode, Tnode, Dist, ACnt, Way, Start, Goal, WayPoint, _
                        WayPCnt, WayPFix, Route, RCnt, TDist)
```

WayPointに中継始点ノードをセットして使用します。

- ◆ WayPFix=Trueの場合、中継地点をセットされた順で中継します。
- ◆ WayPFix=Falseの場合、総距離が最短になるように中継地点を経由します。
- ◆ 中継地点に出発点、目的地が含まれていてもかまいません。
- ◆ 中継地点がネットワーク上に存在しない場合、ルートが見つからないものとしてリターンします。

中継地点を指定しない場合はWayPCnt=0をセットします。

中継地点経由順序をFalse (順不同) にした場合、その経由パターンは多くなります。

(例) A、B、Cの3箇所の場合、ABC、ACB、BAC、BCA、CAB、CBAの6パターンですが、A、B、C、D、Eの5箇所の場合、120パターンになります。

あまり多くなるとメモリがオーバーフローしたり、処理時間がかかる可能性があります。

出発点ノードと目的地ノードが同じなら宅配便のように行って戻ってくるようなケースを意味します。また、違うなら途中で荷積み、荷おろしを行う長距離便の様なケースを意味します。詳細はサンプルプロジェクトを参照してください。

- その他

- 記載されている製品名、商品名、社名は一般に各社、版權所有者の商標または登録商標です。
- 本ソフトウェアによってお使いのシステム又はその他にいかなる問題や障害が起きても弊社、作者は責任を負いません。
- 本ソフトウェアにバグ等の不具合が発見されても、弊社、作者はバージョンアップの責任を負いません。
- 本ソフトウェアの動作の保証はありません。
- 本ソフトウェアの仕様は予告無しに変更されることがございます。
- 本ソフトウェア（ドキュメント、データを含む）の著作権は作者及びSynergic Inc. が保有します。

- 連絡先

有限会社シナジック

e-mail > info@synergic-s.com

URL > <http://www.synergic-s.com>

- バージョン

- 1.0.1Build2
readme（本ファイル）の記述を修正。
ソフトウェア自体の変更はありません。
- 1.0.1Build3
readme（本ファイル）の記述を修正。
ソフトウェア自体の変更はありません。

- （特記）

ダウンロードサイト、雑誌の付録等で本ソフトウェアを入手された方はバージョンが古い可能性がありますので弊社ホームページでバージョンをご確認下さい。